

— 神戸商船大学ラグビー部と合併 — 躍進する新生「神戸大学体育会ラグビー部」

昨年10月に、神戸大学と神戸商船大学が統合され、それに伴ない、この春から神戸大学体育会ラグビー部は、神戸商船大学体育会ラグビー部と合併し、改めて「神戸大学体育会ラグビー部」としてスタートすることになりました。

わが神戸大学ラグビー部は、60名を超す部員で活動し、関西大学ラグビー・Bリーグに所属し、戦っております。

残念ながら、昨年度はBリーグ戦10位、B-C入替戦で勝利し、辛うじてBリーグ残留という悔しい結果に終わりました。

然しながら、今年度は19名の4回生がそれぞれの役務を果たし、リーダーとしてチームを牽引することにより、チームを戦術的・精神的にも厚みのあるものにしようと努力しています。

さらに、今年度も、昨年に引き続き神戸製鋼OBのコーチをFW, BK各1名ずつ、また、今年から大阪市消防局のトレーナー1名も加わり、計3名のコーチ陣から指導を仰いでおります。今年こそ、Bリーグでの活躍してくれるものと期待しています。

OB総会および懇親会を開催

4月29日(祝) 於・深江キャンパス

平成16年度・神戸大学ラグビー部OB会の年次総会及び懇親会が、4月29日(祝) 海洋科学部・深江キャンパス(旧・神戸商船大学)において開催されました。

総会の議案は、前年度の会計報告と平成16年度の予算承認及び直近卒業生担当の学年幹事の選出であったが、原案通り全員一致をもって可決された。

引き続き、深江キャンパス・食堂において懇親会が開催され、OB会長・子安武氏(S29卒)の挨拶のあと、監督・山口秀夫氏(S36卒)から昨年度の総括と今年度の指導方針説明があった。現役からは、今年度の抱負を寺井主将が力強く表明した。

最後に新入部員の紹介があり、和やかな雰囲気の中、全員で「商神」を合唱して閉会とした。

平成15年度「決算報告」

〈収入の部〉 (H.15.4.1~H16.3.31) (単位:円)

項 目	予 算	実 績
1. 前年度繰越	179,435	179,435
2. 会 費	2,200,000	2,119,824
3. そ の 他	50,000	20,116
収 入 計	2,429,435	2,319,375

〈支出の部〉

項 目	予 算	実 績
1. クラブチーム運営費	180,000	180,865
2. 会 報 作 成 費	270,000	241,852
3. 自動振込手数料等	50,000	60,975
4. 協 会 費	30,000	0
5. 現 役 補 助	1,000,000	1,032,030
6. 地区対抗補助	200,000	200,000
7. 三 商 大 補 助	50,000	50,000
8. 総 会 運 営 費	70,000	-32,000
9. 監督費・コーチ活動経費補助	450,000	450,000
10. 東京支部運営費	15,000	0
11. 会 議 費	0	0
12. 雑 費	0	0
13. 次 期 繰 越	114,435	135,653
合 計	2,429,435	2,319,375

会計担当: 岡田 功 (S62卒)

会計監査: 森内 敏晴 (S56卒)

2004年4月23日監査実施

平成16年度「予 算」

〈収入の部〉 (H.16.4.1~H17.3.31) (単位:円)

項 目	予 算	備 考
1. 前年度繰越	135,653	
2. 会 費	2,200,000	1万円/口
3. 寄付・その他	50,000	寄付、雑収入
収 入 計	2,385,653	

〈支出の部〉

項 目	予 算	備 考
1. クラブチーム運営費	180,000	事務局費用・慶弔費等
2. 会 報 作 成 費	270,000	凌霜ラグー印刷費
3. 自動振込手数料等	50,000	振込費用、自動引落とし費用
4. OBチーム活動費	30,000	
5. 現 役 補 助	1,000,000	
6. 近 国 体 補 助	100,000	和 歌 山 開 催
7. 三 商 大 補 助	50,000	関 西 開 催
8. 総 会 運 営 費	30,000	会 食 費 等
9. 監督・コーチ活動費補助	350,000	合宿・試合 交通費・宿泊費補助
10. 新入部員獲得・勧誘費補助	100,000	
11. 東京支部運営費	15,000	幹事会、総会費用等
12. 会 議 費	30,000	理 事 会 費 用 等
13. 次 期 繰 越	180,653	
合 計	2,385,653	

恒 例 の O B 戦 の 結 果

昨年10月、神戸商船大学は神戸大学に統合された為、現役チームの部員数は、60名を超す大所帯となりました。

大勢の選手が入り乱れて走る回る練習風景は壮観であり、力強いものがヒシヒシと伝わってきます。今年こそBリーグで大旋風を巻き起こしてくれるものと確信しています。しかし乍ら、OB会については未だ統合できておらず、今後の調整・進展に大きな期待が寄せられています。

例年通り、総会開催に先駆けて今年も、同日午前11時からOB戦が行われましたが、現役は、新入部員12名を中心にチームを編成し、OBに胸を借りて若さ溢れるプレーを随所に見せてくれました。

4月29日(祝) 11時キックオフ、神戸大学深江グラウンド

現役チーム 10-22 OBチーム

【メンバー】

1 豊島 2 衛藤 3 柴野 4 大谷 5 百々 6 行旨
7 桐生/貴志 8 高野/田口 9 富安 10 石井 11 小林/小松 12 伊藤 13 佐々井 14 脇田 15 奥

第55回定期戦にて「東京海洋大学」を撃破！

旧・神戸商船大学と旧・東京商船大学との伝統ある定期戦も、大学の統合という時代の流れに伴い、それぞれの学校に継承され、神戸大学VS東京海洋大学との定期戦となりました。

第55回定期戦は4月29日(祝)、OB総会の終了後、14時30分キックオフ、引き続き、海洋科学部・深江グラウンドにて執り行われ、勝利した。

○神戸大学 38-12 東京海洋大学

昨年に続き、旧三商大定期戦を連覇！

主務 貴志 泰正

今年度は大阪市立大学が当番校であり、

5月1日(土) 13時キックオフ 花園第2グラウンド

○神戸大学 39-38 大阪市立大学

前	後	前	後
1	6	T	2
0	2	G	1
5	34	計	12
			26

【メンバー】

1 岩崎 2 寺井 3 芝野 4 田口 5 真壁 6 大羽 7 松浦 8 井田 9 辻子 10 服部 11 山崎 12 植村 13 木下 14 桐生 15 高野

【戦評】

試合開始早々、先制を許す。一度追いつくも、前半終了間際に逆転を許し、7点差で折り返す。

後半は先にトライを奪うも、その後3つ続けてトライを許し、一時は21点差に。しかし、後半20分で猛追。37分に後半5つめのトライで4点差とし、ロスタイムにキャプテン寺井がペナルティーから速攻を仕掛けトライ。39-38、劇的な勝利を獲得した。試合内容、試合運びに課題を残しながらも、その中で勝利できたことは大きな収穫であった。

5月3日(祝) 13時キックオフ 花園第2グラウンド

○神戸大学 66-15 一橋大学

前	後	前	後
7	5	T	1
1	2	G	1
37	29	計	10
			5

【メンバー】

1 仲居 2 高橋 3 芝野 4 真壁 5 田口 6 平林 7 寺井 8 大羽 9 辻子 10 松本 11 小松 12 植村 13 高野 14 桐生 15 山崎

【戦評】

大阪市大戦の反省が生きたか、開始30秒で先制する。

前半で7トライを奪う。後半も危なげない展開で5トライを奪い、66対15の大差をつけての勝利。市大と一橋大の対決を待たずして2年連続の旧三商大定期戦の優勝を決めた。

第42回近畿地区国立大学体育会・19年ぶりに優勝！

近国体ラグビー大会は、当番校：和歌山大学、

和歌山大学陸上競技場において5月9日から4週に亘って開催されました。

わが神戸大学は今年の前半目標として、打倒・大阪教育大を掲げ、同大会での優勝を目指しておりましたが、見事、19年ぶりに栄冠を勝ち取りました。

戦績は次の通り。

2回戦

5月16日(日) 15時45分キックオフ 和歌山大学グラウンド

○神戸大学 36-0 大阪外国語大学

前	後	前	後
3	3	T	0
2	1	G	0
19	17	計	0
			0

【メンバー】

1 岩崎 2 高橋 3 林 4 田口 5 真壁 6 衛藤 7 松浦 8 大羽 9 辻子 10 石井 11 藤永 12 貴志 13 植村 14 高野 15 山崎

(戦評)

悪天候の中の試合となり、余裕ある試合運びながら前半3トライ、後半も3トライどまり。完封こそ果たしたが、山口監督からコンタクトの厳しさが無かったとの指摘を受けた。

準決勝戦

5月23日(日) 13時45分キックオフ 和歌山大学グラウンド

○神戸大学 24-5 滋賀大学

前	後		前	後
3	1	T	1	0
1	1	G	0	0
17	7	計	5	0

【メンバー】

1 岩崎 2 高橋 3 芝野 4 真壁 5 大谷 6 寺井
7 松浦 8 大羽 9 辻子 10 木下 11 藤永 12 服部
13 貴志 14 高野 15 山崎

(戦評)

前半早い段階で3トライを奪い、ペースを掴んだかに見えたが、その後は完全に滋賀大ペース。後半も得点を許さなかったものの、大半は自陣でのプレー。反則を繰り返しては後退する苦しい展開で、スコア以上に厳しい戦いに。自習の決勝戦に不安を残す結果となってしまった。

決勝戦

5月30日(日) 14時45分キックオフ 和歌山大学グラウンド

○神戸大学 24-12 大阪教育大学

前	後		前	後
1	3	T	0	2
1	1	G	0	1
7	17	計	0	12

【メンバー】

1 中居 2 高橋 3 亀井 4 田口 5 林 6 寺井
7 松浦
8 大羽 9 辻子 10 服部 11 高野 12 木下 13 植村
14 桐生 15 山崎

(戦評)

2回戦、準決勝戦とは打って変わり、気持ちの入ったプレーで先制。後半も続けて3トライを奪い24点差に。

しかし、大教大もここから意地を見せ、2トライを返す。

さらに反撃が続いたが、粘り強いディフェンスで凌ぎノーサイド。

春シーズンの目標であった大教大への勝利を成し遂げ、19年ぶりに近畿国立体育大会での優勝を果たした。

新チーム開始から標榜してきた目標を達成できたという意味で非常に大きな1勝であった。

神戸大学ラグビー部を強くするための「ペンタゴン・フレームワーク」

神戸大学ラグビー部部長 滝川 好夫
(経済学部教授)

「ペンタゴン・フレームワーク」は企業価値を高めるための戦略のひとつですが、ここでは神戸大学ラグビー部の価値をいかにすれば高めることができるかをペンタゴン・フレームワークで説明します。さあ、現役のみなさんは「何をしているときに、神戸大学ラグビー部の価値を高めている」と思いますか。みなさんの1日24時間のうち、神戸大学ラグビー部の価値を高めている時間をH1、高めていない時間をH2とすれば、 $H1 + H2 = 24$ 時間です。ペンタゴン・フレームワークでは、神戸大学ラグビー部の価値として、次の5つのものを考えています。ただし、以下の「価値」は誰の評価とは言いません。

① 「外部評価」価値：Bリーグ2位

みなさん一人ひとりが誰かから外部評価されるとすれば、その結果はみなさんの「外部評価」価値です。「外部評価」価値の対象はもっぱら神戸大学ラグビー部の価値を高めている時間H1であり、他人からあれこれ言われるのは嫌なものかもしれませんが、実は他人から評価を受けることがラグビー部強化には必要です。

② 「自己評価」価値：Bリーグ7位

「自分を見つめる」ことによって、「自己評価」価値を求めることができるでしょう。さあ、「自己評価」価値が「外部評価」価値より小さいときはどうしますか。これは一言で言えば、「本人の努力不足」ということになります。他人はあなたを高く評価しているのに、あなたはその期待に応えていないことを意味しています。逆に、「自己評価」価値が「外部評価」価値より大きいときはどうしますか。これは一言で言えば、「本人のPR不足」ということになります。他人はあなたを過小評価していることになりますから、あなたは自分をもっとアピールする必要があります。「外部評価」価値と「自己評価」価値の大小関係によって、「自分が何をすればよいかが分かる」のですから、ラグビー部強化のためには、他人から評価を受けることも、自己評価つまり「自分を見つめる」ことも必要です。みなさんは、「自己評価」と「他人評価」のギャップを埋めるように、ラグビー部強化につとめなければなりません。

③ 内部的潜在価値：Bリーグ4位

「内部的潜在価値」とは、みなさんが自己の価値

を高めている時間H1の中で最大限がんばったときの価値です。つまり、現在の練習に集中力を最大限発揮したときの、みなさんの最大「自己価値」のことです。「内部的潜在価値」が「自己評価」価値より大きいときはどうしますか。これは一言で言えば、「本人の努力不足」ということになります。みなさんは、「内部的潜在価値」と「自己評価」価値のギャップを埋めるように、ラグビー部強化につとめなければなりません。

④ 外部的潜在価値：Bリーグ4位

「外部的潜在価値」とは、みなさんが、自己の価値を高めている時間H1の中で最大限がんばり、さらに神戸大学と神戸商船大学の統合などにより高めた最大「自己価値」です。

⑤ 最大価値：Aリーグ

みなさんは、自己の価値を高めている時間H1の中で、ひとりで最大限がんばったとします。さらに、神戸大学と神戸商船大学の統合などによりがんばったとします。しかし、にもかかわらず、結果として生じた価値が「外部評価」価値より小さいときはどうしますか。このときは「自己の価値を高めていない時間H2」を削る、一言でいえば「練習時間を増やす」ということになるでしょう。どこまで最大価値を高めるのかは、みなさんの「気力」と「体力」しだいでしょう。まあ、ここまで来ると、あとは「勉強に支障のないように」「体を害さない程度」ということになるでしょう。

練習試合の結果報告

主務 貴志 泰正

4月4日(日) 12時キックオフ 神戸大学深江グラウンド

○神戸大学 24-0 神戸大学医学部

前	後	前	後
1	3	T	0
1	1	G	0
7	17	計	0

【メンバー】

1 岩崎/中居 2 高橋/衛藤 3 藤枝/亀井 4 中宮/是恒 5 真壁/林 6 衛藤/寺井 7 松浦/門田 8 井田/大羽 9 松本/辻子 10 服部/木下 11 山崎/古市 12 貴志/藤井 13 木下/桐生 14 森/藤永 15 高野/山崎

4月17日(土) 14時キックオフ 神戸大学深江グラウンド

○神戸大学 52-12 シックス
20分×4
(145、 50、 147、 190)

4月25日(日) 12時キックオフ 神戸大学深江グラウンド

○神戸大学A 43-5 大阪大学A

前	後	前	後
4	3	T	1
3	1	G	0
26	17	計	5

【メンバー】

1 高橋 2 寺井 3 井上 4 田口 5 真壁 6 大羽平林
7 松浦 8 井田/大羽 9 辻子 10 服部 11 高野
12 植村 13 木下 14 桐生 15 山崎

○神戸大学B 12-0 大阪大学B

5月5日(祝) 12時キックオフ 関西大学グラウンド

○神戸大学 34-22 関西大学

前	後	前	後
4	1	T	2
2	0	G	0
29	5	計	10

【メンバー】

1 中居/岩崎 2 高橋 3 藤枝 4 田口 5 真壁 6 寺井
7 大羽 8 井田 9 辻子/松本 10 木下 11 桐生/森
12 植村/貴志 13 藤井/安岡 14 高野/藤永
15 山崎/桐生

6月5日(土) 15時キックオフ 神戸大学深江グラウンド

○神戸大学 34-22 流通科学大学

前	後	前	後
4	1	T	2
2	0	G	0
29	5	計	10

【メンバー】

1 中居 2 衛藤 3 藤枝 4 大谷 5 是恒 6 広川
7 平林 8 井田 9 富安 10 石井 11 奥田 12 伊藤真
13 佐々井 14 藤永 15 古市

6月12日(土) 13時30分キックオフ 摂南大学グラウンド

△神戸大学 22-22 摂南大学

前	後	前	後
1	3	T	3
0	1	G	0
5	17	計	17

【メンバー】

1 中居/岩崎 2 高橋 3 林/亀井 4 大羽/林 5 真壁
6 寺井 7 松浦 8 井田/大羽 9 富安/辻子 10 服部
11 松本 12 桐生 13 高野 14 貴志 15 山崎

6月13日(日) 13時キックオフ 関西外国語大学グランド

●神戸大学 12-14 関西外国語大学

前	後	前	後
1	1	T	1
0	1	G	1
5	7	計	7

【メンバー】

1 亀井 2 平林 3 井上 4 大谷 5 門田 6 安岡 7 衛藤
8 大羽 9 辻子 10 桐生 11 奥田 12 伊藤真
13 松本 14 藤永 15 古市

6月19日(土) 13時キックオフ 神戸大学深江グランド

●神戸大学 21-28 六甲クラブ

前	後	前	後
2	1	T	1
2	1	G	1
14	7	計	21

【メンバー】

1 岩崎 2 高橋 3 林 4 田口 5 真壁 6 寺井 7 松浦
8 大羽 9 辻子 10 服部 11 桐生 12 高野 13 貴志
14 藤永 15 山崎

6月20日(日) 11時キックオフ 神戸大学深江グランド

●神戸大学 0-7 仏教大学(30分×1)

●神戸大学 5-14 桃山学院大学(30分×1)

【メンバー】

1 中居 2 高橋/衛藤 3 亀井/井上 4 是恒/脇田
5 大谷/百々 6 津井/豊島 7 門田/行旨 8 井田/芝野
9 富安/辻子 10 木下 11 奥田 12 伊藤真 13 藤井/山崎
14 高野 15 古市

6月26日(日) 15時30分キックオフ 神戸大学深江グランド

○神戸大学A 19-10 大阪産業大学

前	後	前	後
0	3	T	1
0	2	G	0
0	19	計	5

【メンバー】

1 岩崎 2 高橋 3 林 4 真壁 5 田口 6 寺井
7 松浦 8 大羽 9 辻子 10 服部 11 松本 12 木下
13 桐生 14 富安 15 藤井

6月26日(日) 16時50分キックオフ 神戸大学深江グランド

○神戸大学B 29-8 兵庫教育大学

前	後	前	後
3	2	T	1
1	1	G	0
0	0	PG	1
17	12	計	8

【メンバー】

1 中居 2 衛藤 3 亀井 4 井上 5 大谷 6 行旨
7 門田 8 芝野 9 辻子富安 10 石井 11 藤本小林
12 伊藤真 13 藤永 14 奥田 15 古市

【戦評】

春季の最終試合であり、神戸大学A,Bチームとも有終の美を飾るべくモチベーションも高く、集中力も切れず、試合開始からよく前に出てプレーしていた。前日の降雨でグランド・コンディションは極めて悪かったが、粘り強いディフェンスとボール獲得に対する執念も強く、ターン・オーバーも随所に見られ、非常に見応えのあるゲームで締めくくった。夏季合宿でさらにブラッシュアップし、Bリーグでの活躍が期待される。

訃 報 ご 通 知

謹んでご連絡申し上げますとともに衷心からご冥福をお祈り申し上げます。

5月23日ご逝去 佐々木慎太郎氏(S42卒)

6月29日ご逝去 溝口 武彦氏(S36卒)

故 佐々木 慎太郎君を偲ぶ

室賀 隆(S43卒)

佐々木君! 徳宮君に続いてとうとう君の追悼文も書くことになってしまった。残念としか言いようがない。

一昨年来、徳宮君・永峰さん・佐々木君と神戸大学で一緒にプレーした3人を相次いで失ってしまった。

現役時代の肉体・健康問題は、「誰がスタミナがあるか」「誰がケガが多いか」程度で、病気をまして「死」など全く思いもしなかった。

また、会社関係の人が亡くなられても、死を自分の問題として捉えることはなかったが、今回の君の死は自分の60歳という年齢とも相俟って、死という問題を目先につき付けられた思いがして、落ち込んでしまった。それにしても早すぎるよ。

君とは、天王寺高校ラグビー部入部の時からの付き合いだが、高校時代2年間、大学で3年間ハーフ団を組んだ仲。高校、大学のラグー仲間の中では、プレー上、お互いに最も濃密な関係にあった2人だと思う。

S41年の朝日新聞の「今年のAリーグ戦力展望」

にも「チームの中心は天王寺高校時代からコンビを組んでいる室賀、佐々木のハーフ団。FW、BKの繋ぎ役としてすばらしい判断をみせている。」と書いてもらったこともあった。私のラグビー人生は君なしには語れない。

しかし、君は文の里中学時代に既にスタープレイヤー、一方SHの私は高校で初めてラグビーを始めた素人で、ハーフ団結成当時の私のパスやプレーには不満だったと思うが黙って育ててくれたね。佐々木という名SOがいなかったら、室賀というSHはなかったと感謝している。

一番の思い出は、君が4年生の時のリーグ戦初戦の甲南大戦で君が負傷し、次の京大戦に出られず京大戦を落とし、以後勝ったり負けたりで、Aリーグの上位に入る力がありながら結果として下位に甘んじてしまったことである。なぜ、一番の思い出かというと、あの時、君はキックした直後タックルを受け膝を痛めてしまった。あの時、自分のパスがもう少し早かったら、自分でサイドをもぐっていたら、君の負傷はなかったと思う。一番の思い出というよりも、一生悔いの残る苦い思い出と言った方がいいかもしれない。今でも君に対しても、チームに対しても申し訳ないと思っている。

それ以外の思い出は思いのほか少ないが、思い出しても一人笑いしそうなことがある。それは、練習のランパストップの時のこと。ランパスはSH、SOとFBの3人。君は当時としては超大型SOで、パス、キック、ディフェンス、判断とも申し分なかったが、やや足が遅かった(足が速かったら全日本プレイヤーだったと思う)。思い出はFBが脇君の話、快速脇君と比較的足の速かった私との3人、しかも3人の真中が君なのでトップは本当にきつかったと思うよ。身体を捻り気味に喘ぎながら走っている姿が今でも目に浮かぶ。

君がランパスのトップにいてくれたお陰で、しんどいトップがどれほど救われたか。

佐々木君、生まれ変わったらまたラグビーをしよう。そして嫌がらずにまたハーフ団を組んでくれ。そして出来れば足が速くなって生まれ変わってこいよ。次は、全日本のハーフ団を目指そう。

名SO、名キャプテンだった佐々木君、安らかにお眠りください。さようなら。

神戸大学 選手名

部長 瀧川 好夫(経済学部教授)
監督 山口 秀夫(S36卒)
コーチ 飛弾 誠(神鋼OB)
コーチ 出向井 豊(神鋼OB)
コーチ 松前 篤志(大阪市消防局OB)

氏名	回	ポジション	出身校
石田 晃三	院1	SH	明星
門田 渉	5	FL	六甲
岩崎 俊次	4	PRO	北野
足立 崇	4	LO	茨木
○田口慎太郎	4	LO	済々黌
林 将大	4	LO	宝塚北
◎寺井 直哉	4	FL	茨木
平林 徹也	4	FL	四條畷
松浦 紘史	4	FL	膳所
安岡 稔朗	4	FL	明石高専
井田 泰久	4	No.8	境
松本 大輔	4	SH	天王寺
服部 修治	4	SO	兵庫
☆貴志 泰正	4	CTB	天王寺
△藤井 一也	4	CTB	北稜
伊藤 豊	4	WTB	神戸(三重)
小松 肇	4	WTB	東大寺
△高野 翔	4	WTB	高津
井上 裕貴	3	PRO	六甲
藤枝 政裕	3	PRO	三木
高橋 俊亮	3	HO	高津
是垣 民喜	3	LO	呉三津田
真壁 茂希	3	LO	千里
松井 志郎	3	SH	修猷館
植村 浩気	3	CTB	北野
山 寛之	3	CTB	横須賀(愛知)
高勝 保	3	WTB	清風
藤永 桂資	3	WTB	四條畷
山崎 祐	3	FB	六甲
中居 敏紀	2	PRO	茨木
亀井 岬	2	HO	大手前
中宮邦久人	2	LO	兵庫
衛藤 健	2	FL	市岡
大羽 康允	2	FL	千種
津井 一哉	2	FL	大阪桐蔭
広川 景亮	2	FL	高津
前田 有生	2	FL	豊中
辻子 昌尚	2	SH	千里
木下 裕介	2	CTB	膳所
桐生 宗明	2	CTB	茨木
藤本 浩伸	2	WTB	近大附属和歌山
古市 裕也	2	WTB	神戸
森 宗太	2	WTB	大阪桐蔭
芝野 大樹	1	PRO	高津
豊島 慶雄	1	PRO	高槻
大谷 洋平	1	LO	膳所
百々 遼	1	LO	高槻

氏名	回	ポジション	出身校
脇田 卓朗	1	LO	愛 光
行旨 尚哉	1	FL	大手前
富安 貴弘	1	SH	西 南
石井 健一	1	SO	千 種
伊藤 真矢	1	CTB	膳 所
佐々井恒一	1	CTB	高 槻
奥田 政信	1	WTB	千 里
小林 弦矢	1	WTB	六 甲
仙波 愛弓	4	マネージャー	小林聖心
高木 良	4	マネージャー	八 頭
永田 万結	4	マネージャー	鈴 鹿
榊原加奈子	2	マネージャー	金沢二水
前田 由香	2	マネージャー	坂 出
杉谷 茉悠	1	マネージャー	奈 良
田久保喜美	1	マネージャー	親和女子
中山 亜委	1	マネージャー	北 野
柴田 麻美	1	マネージャー	倉吉東

◎主将、○副将、△リーダー、☆主務を示す。

今 年 の 抱 負



主将 寺井 直哉

OBの皆様、いつもお世話になっております。

『大教大を破っての近国優勝』という春シーズンの目標を達し勢いに乗るチームであります、今

の時期が自らの足下を見つめ直す最後の機と考え、日々基本プレーの確認・徹底を行っております。

今シーズンはチーム全体のラグビーに対する意識向上を根底に置き、フィジカル・スキルのレベルアップはもちろんのこと、60人の部員全員が“チームのルール”を守ることによってその絆を強く固いものとし、真に強いチームの確立を目指しております。

さて、そういった厳しさの中にラグビーの楽しみを模索しておりましたが、先の大教大戦勝利にその一端を見出し手応えを感じております。この先の発展には皆様方のご支援、ご声援が欠かせません。今後ともよろしくお願いいたします。

Bリーグで勝利を重ねます。それが我々の楽しみです。



副主将 田口 慎太郎

本年度、副キャプテン兼FWリーダーを務めております、田口慎太郎です。

今年は私たち4回生の人数が多く、キャプテンの寺井を中心

に春からとてもよい雰囲気練習ができていると感じております。

今年のFWは、春からスクラムを毎日組んで、Bリーグで押し負けないセットプレーを目指して練習しています。

先日はその甲斐あって大阪教育大にスクラム・モールで押し勝ち、目標にしてきた相手に勝利することができました。

今後益々の精進を重ね、秋のリーグを最高の形で終えることができればと思っております。

ご声援の程、よろしくお願い致します。



バックスリーダー 藤井 一也

3月の練習開始から3ヵ月、キャプテンを中心にチームを運営していく中で、その難しさを痛感しています。その分、試合に勝った時の喜びもとても大きく感じています。

そして今年こそBリーグで4年ぶりの勝利をあげ、さらに勝利を重ねることを目標とし、今の状況に満足することなく高い意識をもって日々の練習に取り組んでいきたいと思っています。



バックスリーダー 高野 翔

今季BKリーダーを務めさせて頂くことになりました理学部物理科の高野翔です。

リーグ戦において簡単には勝たせてもらえないことは分かっています。常に100%の力が出せるとは限りませんし、思わぬアクシデントもあるでしょう。しかし、そんな障害を四回生全員がチームを引っ張り克服していきたい、そう思っています。



主務 貴志 泰正

突然の合併で部員数が急増した今季、主務として果たすべき役割は昨季よりさらに大きくなり、身の引き締まる思いです。この大人数がひとつにまとまれば、個々人がさらに力を発揮できるように感じています。そのために尽力するとともに、四回生全員でプレー面でもチームを盛り上げていきたいです。

女子マネージャーのコメント

四回生 仙波 愛弓

1回生マネージャー4名を迎え、またチーム全体として総勢64名と大所帯になった今年は、チームのさらなる飛躍をめざし、より幅の広いサポートに取り組んでいきたいと思っています。



四回生 高木 良

自分自身もラグビーを楽しみながら、最上級生としての自覚と責任を持ち、残り一年しっかり選手をサポートしていきたいと思います。

四回生 永田 万結

最後の一年が最高の一年になるように、私にできるすべてを出し尽くしてプレイヤーを支え、チームの勝利とさらなる発展に少しでも力になれば、と思います。

二回生 榊原 加奈子

プレイヤーのみんなと一緒に去年よりももっとがんばりたいと思います。

二回生 前田 由香

暑さに負けず頑張ります。

一回生 柴田 麻美

気合いで頑張ります。これからよろしく願います。

一回生 杉谷 茉悠

早く色々な仕事を覚えて役にたてるようになりたいです。

一回生 田窪 喜美

誰にからでも信頼されるマネージャーになれるよう日々努力していきます。

一回生 中山 亜委

これから皆さんと一緒に笑顔で頑張ります。

コ ー チ か ら ひ と こ と

コーチ 飛弾 誠

OB会の皆様へ、FWコーチの飛弾です。

今年の神戸大学ラグビー部は、寺井キャプテンを中心に期待の出来るチームに仕上がっていると思います。

問題は、春シーズン終了後のOFFシーズンと夏合宿をいかに充実させ、怪我人なくリーグ戦に臨めるかです。

この問題をクリアすれば、リーグ戦ではかなり面白い試合が見られると思います。

是非、16人目のプレイヤーとして後輩達の活躍をグラウンドまで見に来て下さい。

コーチ 出向井 豊

昨シーズンより飛弾コーチの誘いを受け、コーチ

としてお手伝いさせて頂いている出向井です。

昨年度は4年生が3人という状況で学生主体の運営というなか、4年生には大変なプレッシャーだったと思います。しかし、Bリーグ残留という今年度につながる結果となり、4年生はよく頑張ったと思っています。

さて、新チームとなり昨年度の反省も踏まえ、上級生、特に4年生が主将を中心とし、春シーズンの目標、目標に対する計画、そして練習と順調にスタート出来たと思っています。その結果として大教大に勝利し、学生には自信になったことと思います。

これから新たに達成出来る目標を立て、中身の濃い練習を行ってくれると信じています。

ここでこの紙面をお借りして、学生に秋の公式戦に向けて私から希望があります。

公式戦、練習試合で常にクリーンゲーム、ベストゲームを心がけてゲームに臨んでもらいたいということです。

特にクリーンゲームについては、ゲーム中はラフプレーはもってのほか、反則は少なくレフリーを尊重し、学生らしいゲームをしてほしいと願います。

最後になりましたが、OBの皆様にはどんどんグラウンドに足を運んで頂き、特に若手のOBの方にはグラウンドで学生と一緒に汗を流してアドバイスを頂ければと思います。

微力ながら飛弾コーチ、松前コーチと共に学生をサポートしていきたいと思っておりますので、どうかOBの皆様の応援宜しくお願い致します。

平成 16 年 度 夏 合 宿 日 程

期間 平成16年8月13日～20日

但し、13日は移動日

20日夕、菅平を出発

場所 長野県小県郡真田町菅平高原

リゾートハイランド美やざき

電話 0268 (74) 2082

**夏合宿を訪ね、現役選手に対して
激励をお願いします。**